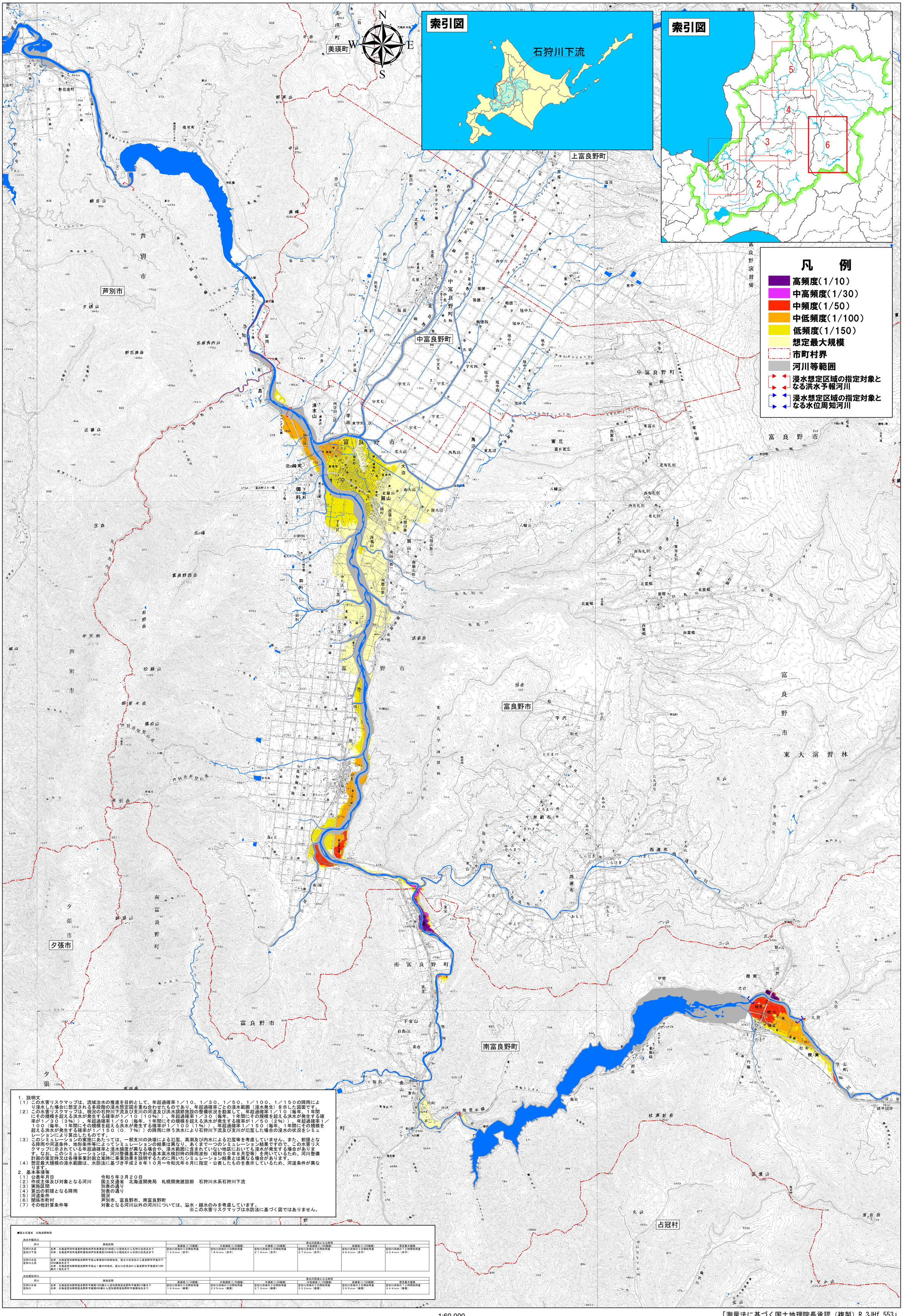
石狩川水系石狩川下流　国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ【現況河道】No6

浸水が想定される範囲を表示



1．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、１／１００、１／１５０の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況の石狩川下流及び支川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０％））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３％））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２％））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１％））、年超過確率１／１５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１５０（０．７％））の降雨に伴う洪水により石狩川下流及び支川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、一部支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和５０年８月型等）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成２８年１０月～令和元年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2．基本事項等

（１）	公表年月日	令和５年３月２０日
（２）	作成主体及び対象となる河川	国土交通省　北海道開発局　札幌開発建設部　石狩川水系石狩川下流
（３）	実施区間	別表の通り
（４）	算出の前提となる降雨	別表の通り
（５）	河道条件	現況
（６）	関係市町村	芦別市、富良野市、南富良野町
（７）	その他計算条件等	対象となる河川以外の河川については、溢水・越水のみを考慮しています。 ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

■国土交通省　北海道開発局

洪水予報河川

河川	実施区間	算出の前提となる降雨					
		高頻度(1/10規模)	中高頻度(1/30規模)	中頻度(1/50規模)	中低頻度(1/100規模)	低頻度(1/150規模)	想定最大規模
石狩川水系 空知川下流	左岸：北海道芦別市滝里町国有林芦別事業区3914林班い小班地先から石狩川合流点まで 右岸：北海道芦別市滝里町国有林芦別事業区3548林班ろ小班地先から石狩川合流点まで	空知川流域の３日間総雨量 １３０ｍｍ（赤平）	空知川流域の３日間総雨量 １８０ｍｍ（赤平）	空知川流域の３日間総雨量 ２１０ｍｍ（赤平）	空知川流域の３日間総雨量 ２７０ｍｍ（赤平）	空知川流域の３日間総雨量 ２８０ｍｍ（赤平）	空知川流域の７２時間総雨量 ４０４ｍｍ（赤平）
石狩川水系 空知川上流	左岸：北海道空知郡南富良野町字金山事業区83林班地先、富士川合流点から富良野市字島の下4590番地先まで 右岸：北海道空知郡南富良野町字金山１番の40地先、富士川合流点から富良野市字信濃沢1286番の１地先まで						

水位周知河川

河川	実施区間	算出の前提となる降雨					
		高頻度(1/10規模)	中高頻度(1/30規模)	中頻度(1/50規模)	中低頻度(1/100規模)	低頻度(1/150規模)	想定最大規模
石狩川水系 空知川	左岸：北海道空知郡南富良野町字幾寅1889番から空知郡南富良野町字幾寅514番まで 右岸：北海道空知郡南富良野町字幾寅480番から空知郡南富良野町字幾寅地先まで	空知川流域の３日間総雨量 １６９ｍｍ（幾寅）	空知川流域の３日間総雨量 ２３５ｍｍ（幾寅）	空知川流域の３日間総雨量 ２７３ｍｍ（幾寅）	空知川流域の３日間総雨量 ３３３ｍｍ（幾寅）	空知川流域の３日間総雨量 ３６５ｍｍ（幾寅）	空知川流域の７２時間総雨量 ４４４ｍｍ（幾寅）

「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 3JHf 553」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」